

令和6年度 第1回 勝山市子ども・子育て支援審議会 議事録

日 時 : 令和6年5月27日(月) 午後7時～9時
場 所 : 教育会館3階 第3研修室
出席者 : 審議会委員 出席:13名 欠席:1名 事務局:8名 報道:2名

委嘱書交付

教育長あいさつ

教育長 勝山市は妊娠、出産から18歳の成人に至るまで、一元的かつ切れ目のない子ども子育て支援体制を構築するため昨年度から教育委員会にこども課を設置し、質の高い教育、保育の充実や子育て支援、子育て環境の充実などに取り組んでいる。かつやまっこすくすくビジョンは、昨年度1年間の取り組みとして、審議会の意見をもらい3月に策定した。これを元に勝山市内の幼稚園、保育園、認定こども園の教育、保育の方向性を揃えて教育、保育の充実に役立てていく趣旨で策定させていただいた。また、令和6年度4月には、こども家庭庁が進めているこどもまんなかの取り組みに賛同して、勝山市でもこどもの健やかな成長を支援するこどもまんなか応援サポーター宣言を行った。

具体的なアクションとして、福井県では初めてとなる保育料の完全無償化、こども家庭センターの設置、結婚相談の相談支援の充実、子育て施策など情報発信の強化などを掲げて取り組みをスタートしている。

本審議会に対して勝山市教育委員会から諮問をさせていただく。今年度は、第3期子ども子育て支援事業計画及びこども計画の策定を予定している。委員から忌憚のない意見をお願いし、より良い計画に仕上げていきたいと考えている。

勝山市においては、昨年度の出生数が初めて100人を切って86人だった。少子化の進行がさらに進んでいる。これまでの取り組みを踏まえ、今後の勝山市の子ども子育て支援をさらに充実していくために、委員の皆様方のお力添えを賜りたい。

会長選出

会長あいさつ

2015年から子ども子育て支援審議会の委員をさせていただき9年経った。

2015年に子ども子育て支援制度を国が始め全国すべての自治体においてこのような会議が設けられた。活発な議論をお願いしたい。職務代理者選出。

諮問

教育長 勝山市子ども子育て支援事業計画及びこども計画の策定について 勝山市では、子ども子育て支援法第61条の規定に基づき、第3期勝山市子ども子育て支援事業計画を策定するとともに、子ども基本法第10条の規定に基づき、子ども計画を策定することとしている。市民の視点に立った教育、保育及び地域子ども子育て支援事業の提供体制の確保、子ども子育て支援に関する事業の円滑な推進によりこども真ん中社会の実現に向けて、第3期勝山市子ども子育て支援事業計画及びこども計画の策定について審議会の意見を求める。

議事 (1) 第3期子ども子育て支援事業計画及び子ども計画について 資料1

事務局説明

質疑応答など

- 委員 答申するまで一切公表されないということか。
- 事務局 今日、現状を話しあう程度、次の段階で各関係ともすり合わせていき計画をして、最終的に素案ができる。またできたところまでで審議会に回り意見をいただく。
- 事務局 公表は、12月に計画案を検討し、パブリックコメントで1月に公表させていただく。その時に市民の皆様公表して、意見をいただく。
- 委員 議事録はどこまで見れて名前が公表されないのか。
- 事務局 議事録の方はHP上で公表する。誰が何を言ったとかは控えるが、委員名は公表される。

議事 (2) 勝山市の子ども子育てに関する現状について 資料2

事務局説明

質疑応答など

- 委員 合計特殊出生率について教えてほしい。
- 事務局 またお知らせする。
- 副会長 令和3年度から離婚数がないので教えてほしい。
- 事務局 調べてお伝えする。
- 副会長 0ではないということか。
- 事務局 0ではない。

- 委員 今、捉えているのは転出が多い、出生数、子どもの数が減っていることだと思うが、そもそも何が原因という風に捉えているのか。
- 事務局 若い人の流出、晩婚化、高齢化が進み、婚姻数も減っている。少子化対策をするうえで子育て支援も重要だが、結婚に関する支援も大事。働く場などいろいろな問題は複数あるが行政としてできることを考えている。
- 委員 私も自営業で社員がいるが給料がある一定に達しないと結婚しない。多くの若者が良いと思える経済力が生きる勝山市になっていくことを意識できる社会になっていかないといけない。
- 事務局 今、若い世代の方が経済的な理由で結婚しないとの話があったが令和5年11月から、新婚生活を応援するための支援ということで、若い人の結婚を応援するような補助金を出している。
- 委員 今、現段階でやっていることを教えてほしい。
- 事務局 かつやまっこすくすくビジョンの勝山市の主なことも政策について記入してあるが、妊娠、出産の支援では、出産子育て応援金、妊産婦医療費無料、妊産婦にバス無料乗車券を交付、にこにこ妊婦奨励金を行っている。
- 育児支援では、保育料の軽減が令和6年9月から県内では勝山市が初めて保育料完全無償化を始める。児童手当、児童扶養手当は国の施策に合わせて充実、学童期の支援では、児童センターの利用料無料、障がい児の放課後支援もしている。結婚の支援は、婚活イベントの実施や新婚生活の支援、20代30代の方の結婚を支援するための補助や助成をしている。
- 委員 これだけたくさんことをやっているが出生率も上がっていかない。こども課だけでなく行政との連携が大事。
- 委員 出生率の低下や晩婚は勝山市だけの問題ではない。日本全国の全体的な問題で、そこに焦点を当ててしまうと難しい。人口ピラミッドや仕事に対して質を求められる社会になってきているが結婚に結びつかない。男女共同参画などいろいろな問題が複合的に重なり合っている。視点を変えないといけない。勝山は悪いのかというところを知りたくて合計特殊出生率を聞いた。
- 事務局 数は持ち合わせていないが、福井県は全国の中では平均よりは上だったと思う。勝山市も同じように平均だと思う。人口を増やすということに焦点を合わせると解決が難しいが勝山市で育てやすいまちを作る、ここで育って良かったと思ってもらえるまちにする点については皆さんの意見をいただきたい。
- 会長 人口減少をどう食い止めるか、赤ちゃんがどうしたら増えるかという話は絶対必要だとは思う。こども大綱にも書いてあるが、こどもが権利の主体である、実際

生まれて生活をしている子どもたちの今の生活をより良くすることもこの会議でいろいろ議論すること。いくつか柱はあるが人口減少対策は絶対話し合うべき。今いる子どもたちがよりよく生活できるように皆様の立場で感じていることを今後の話し合いで教えていただきたい。

議事 (3) 子ども子育て支援に係るアンケートについて 資料3

事務局説明

質疑応答など

- 委員 病児保育で預けたいけどなかなか預けられない、早朝から預かってほしいとか夜遅くまで扱ってほしいという意見がある。病児保育は病気のお子さんを安全に預かるという観点が必要になる。ニーズは病児保育はたくさんあった方がいい、もっと病児保育を使いやすくしてほしいとなるが、子どもへのストレスを考えてほしい。親御さんが見るのが1番いいが、仕事がどうしても忙しいから休めないというのは、病児保育の問題ではなくて、就労や会社側の問題。病気のお子さんを見てあげなさいと会社が対応していくことは今後求められる時代。
- 委員 子ども子育て支援事業計画はライフステージの子育ての切り口での計画だと思う。全体的に人口減、あるいは就労、労働力が減の中で、勝山市民はどんなことを望んでいるか。少ない住民のニーズに対して全部答えるのは行政なんだろうかと疑問がある。行政として、市民の集合体である勝山市を育成するためにいろいろな施策をしたいことのイメージを共有できるといい。
- 事務局 勝山市としてのビジョンは勝山市総合計画になる。わいわいわくわく安心して結婚・出産・子育てができるまちだが、今は現状だけをデータで全部出しているので、共有していき、これからの課題として一緒に考えさせていただく。
- 委員 不登校がアンケートの結果として見えなかったが、対策を打っているとかアンケートをとって見えていることがあったら示してほしい。
- 教育長 このアンケートにはその項目はないが、勝山市も一定数の不登校の児童、生徒がいて学校で対応している。小中全体では30人ほどである。

報告事項 (1) こども会館について 資料4

事務局説明

- 副会長 イメージのところにこれまでの意見聴取の経緯と書いてあるということは、これもう

意見が出されてるということか。

事務局　これまでにいろいろな団体に意見を聞いている。その意見も合わせて今後の計画に活かしていきたいと思っている。

副会長　どんな意見が出たか、また教えてほしい。

委員　9月、10月に意見交換会があって、その前にもアンケートがある。市民の意見でこども会館がいらないとなったらどうするのか。

事務局　これまでPTA 保護者連合会や私立保育園保護者連合会でも、屋内の遊び場は必要、整備してほしいという要望は以前から受けている。必要ないとなった場合、天候に関係なく遊び場を整備してほしいという要望もあるので整備していきたいという方向で考えている。

委員　利用者のニーズ、子どもの利用状況はどうか、古い建物を改修するとメンテナンスが必要。補助金を使って改修しても、その後どれだけお金がかかるかということも考える必要がある。人口が減ってる中で税収が少なくなってくるのに、その未来に向けて重荷になるようなものを簡単に建ててよいのか。単純に子どもの遊びがあればいいからと言って作るようなものでもないと思う。

事務局　今いただいたご意見も踏まえ皆さんからの意見を集めた上で検討させていただく。

報告事項　（２）その他　病児保育について

事務局説明

委員　5月24日開催の総務文教厚生委員会にて進捗状況について上野こども園の病児保育を認定するにあたって、勝山市の役割や進め方について質問されていた。新規病児保育事業者との話し合いの中で、指導的立場を取ることはなかったことについて、議員からは理事者としての責任を放棄してるのではないかと追求されている。指導的立場をとれなかった理由は、市の事業の進め方に問題があり話し合いに立ち会うことができなかったためだ。

こういうことがあると、ここの会議でさえどこまで信用を持てるのかちょっと疑いたくなる。

報告事項　（２）その他　かつやまっこすくすくビジョンについて

事務局説明

会長　点検や評価するという話もあったと思うので、作って終わりにならないようにこれから活かしてかせていただければと思う。

報告事項 (2) その他 婚活イベントについて

事務局説明

副会長あいさつ

人口減少や労働力不足など勝山市だけの問題ではなく、全国的な問題だと思う。先ほど視点を変えてみた方がよいのではとの意見が出たが、いろいろな角度から大事な子どもたちを守り育てるためだけではなく生き方まで考えないといけない。今後とも、いろんな意見を皆さんで話し合っていけたらと思う。